

利用手順マニュアル Ansible-driver 別紙 Ansible利用ガイドライン ITA追加ルール

一第1.3版一

Copyright © NEC Corporation 2019. All rights reserved.

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。

本書の内容の一部または全部を無断で転載および複写することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

商標

- ・LinuxはLinus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 ・Red Hatは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Apache、Apache Tomcat、Tomcatは、Apache Software Foundationの登録商標または商標です。
- Ansibleは、Red Hat, Inc.の登録商標または商標です。

その他、本書に記載のシステム名、会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。 なお、® マーク、TMマークは本書に明記しておりません。 ※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

Ansible利用ガイドライン(ITA追加ルール)

| No. 項目 | 談当 Legacy R | it-F | | ITA取り込み不可例 | ルールに準拠しな い場合の影響機能 | 影響概念 | エラー表示例 |
|---|----------------|------|---|---|----------------------|--|---|
| 東敬を使用する際、playbook内の京敬を以下とする。 ※ユーザ定義範囲の定義ルールばAnable ルールに等する | 0 | 0 | O - name: ファイル内容確認 command: cat /tmp/(VAR_SAMPLE | - "『または"」と数数名の間に「非角スペース」がない command cut / frum(「MAR SAMPLE 「ではないないないないないないないないないないないないないないないないないないない | 代入值管理 | - 登録の場合 Movementを選択しても変数名に検替として表示しません。 作業 天行時に変数未定義のエラーとなります。 - 更要の場合(代入被管理登録後に「不追加ルール外の 記載のawhookに「変数しより会う。 変数名に「ID変換夫数の」(然のは登録時の管理番号)と 表示します。 作業来行時に変数未定義のエラーとなります。 | 選載 ポペーション* Movement* 第スト* 食業を BBAJD [DODITION 10] IETUA Alba Alayary IETUA Alba Alba Alba Alba Alba Alba Alba Alb |
| 2 ITAWebUI上のテンプレート管理メニューでテンプレート素材を登録をする際、 テンプレート理点変数名の接頭文字をTPF-とし、TPF-を含め128Byte以内とする。 | 0 | × | デンプレート集放変変会 テンプレート集材 TPF_SAMPLE sample.txt | TPE_SAMPLE | テンプレート管理 | 登録開面でパリデーションチェックを行っているので、ITA 追加ルールに準拠しないテンプレート埋込変数名は登録 できません。 | |
| アップロードしたテンプレート素材をplaybook内で指定する場合は、playbook内の変数を以下さる。 さずる。 | 0 | × | × - name: ファイル配置 template: src= TPF_SAMPLE dest=/tmp/SAMPLE.txt | *『重先は"」と聚策名の側に「手角スペース」がない templates resul[TPF SAMPLE] lobativ/mmy/SAMPLE.txt templates resul[TPF SAMPLE] lobativ/mmy/SAMPLE.txt **『重先は"」と変数の側のに「手角スペース」が意場した。 もまたは"」と変数の側のに「手角スペース」が意場した。 ・「電影文下に」が「メスMPLE] もませ、「my/SAMPLE] lobativ/mmy/SAMPLE.txt ・電影文下に」が、「がない。 ・電影文下に、かり、「がない。 ・電影文下に、かり、「がない。 ・電影文下に、かり、「がない。 ・電影文下に、かり、「がない。 ・電影文下に、かり、「がない。 ・電影文下に、かり、「がない。 ・電影文下に、かり、「がない。」 ・電影文下に、かり、「がない。 ・電影文下に、かり、「がない。」 | テンプレート管理 | 登録したテンプレート素材への置換が行われません。 | □ 旅行状況(エラーログ) フィック: □総合けるみまた デドル内のはフィイル(respires、psilの別目のrespireをジュールのソットライルを対すままには報ぎれている実験がする。 |
| tasksディレクトリ内のplaybookやtemplatesディレクトリ内のテキストファイルで使用する変数 は、 は、 ・ ※具体値は必須ではない | × | 0 | 【tasks/main.yml】 - name: デンプートファイル内容接受 - ommand この | [tasks/main.ymi] - name: デンプレートファイル内容確認 - command: cat //mp/ 'VAR SAMP(E_01 command: cat //mp/ 'VAR SAMP(E_02 command: cat //mp/ VAR SAMP(E_03 command: cat //mp/ VAR SAMP(E_03 Cafefults/main.ymi) Gefaults/main.ymi VAR SAMP(E_03 SAMP(E_03 stat) | ロールバッケージ管理 | 事前アップロード時に警告を表示します。 | ロール(シケーシファイル(ZIP形成) 章都アップロード アップロード状況: ロール(4) の皮質(YAR_SAMPLE_01)社会意主義ファイ ルに来想。 |
| TITAWebUI上のグローバル変数管理メニューでグローバル変数を登録する際、 グローバル変数名の接頭文字をGBLとし、GBLを含め128Byte以内とする。 | 0 | 0 | <u>グロー/UJ条数を</u> 争 GRL_SAMPLE sample.tut | GBL.SAMPLE | グローバル変数管理 | 登録画面でパリデーションチェックを行っているので、ITA 通加ルールに準拠しないヴローバル変数名は登録できません。 | We 4-pte6xyt-p ▲ /0F-be>IF-tF. |
| グローバル変数を使用する際、playbook内の変数を以下とする。 ※ユーザ定義原間の記憶ルールはAnable ルールに準ずる #舟大文宇 ユーザ定義 【【 GBL ※ ※ ※ ※ ・ #角大ベー 128b/tc以内 半角スペー | 0 | 0 | ○ - name: ファイル内容確認 command: cat /tmp/[[GBL_SAMPLE]] | - 接順文字(GBL)が小文字になっている command cat /mm/l gb SAMPLE 接限文字(GBL)の7 jがない command cat /mm/l (GBLSAMPLE 変数名が129文字以上ある | グローバル変数管理 | 作業実行時にグローバル変数の置換が行われないため エラーとなります。 | *接触文学のBL)がルールに事機してない場合 (東京が北京和のファールには、東側してない場合 (東京が北京和のファールには、東側してない場合 (本のは、1997年 1997年) 「日本のの本名 (本のは、1997年 1997年) 「日本のの本名 (本のは、1997年 1997年) 「日本のの本名 (本のは、1997年 1997年) 「日本の本名 (本のないないないないないないないないないないないないないないないないないないない |
| 7 ロールバンケージファイルに含むplaybookでグローバル変数を使用する場合、アップロードする前にグローバル変数を登録する。 | × | 0 | × ロールパッケージを登録する前にグローバル変数を登録している | ロールバッケージを登録する前にグローバル変数を登録していない | ロールバッケージ管理 | 事前アップロード時に習合を表示します。 | ロール/(シケージファイル(ZIP形式) 事制アップロード アップロード快速: ロール:(GglSample) で使用されているグロー/ UL会家 (GBL_SAMPLE)はグロー/ UL会家管理に未登録。 |
| ■ ITAWebUI上のファイル管理メニューでファイル環込変数を登録する際、ファイル環込変数名の接頭文字をOPF.とし、OPF.を含め128Byte以内とする。 | 0 | 0 | ファイル要な合意 ウ ファイル条材 CPF_SAMPLE sample bit | CPF.SAMPLE | ファイル管理 | 登録画面でパリデーションチェックを行っているので、ITA 追加ルールに早拠しないファイル望込変数名は登録でき ません。 | wab ページをものメッセーン |
| ファイル语込変数を使用する際、playbook内の変数を出下とする。 ※ユーザ定義画圏の記載ルールはAnableルールに準ずる #角大文字 ユーヴ定義 {{CPF | 0 | 0 | × - name: ファイル配置 copy: src= CPF_SAMPLE dest=/tmp/SAMPLE.txt | - ""または"」と意義名の間に「半角スペース」がない copy.src=(IOPS_SAMPLE) destro/mp/SAMPLE) - ""または"」と表数名の間の「半角スペース」が信以上は - ""または"」と表数名の間の「半角スペース」が信以上は - ""または"」と表数名の間の「半角スペース」が信以上は - 提展文字(TP)の「MP/LEIX している - はままず(TP)の「MP/LEIX しませい/mp/SAMPLEIX - ままままで、「DIMS_MP/LEIX しままままで、「DIMS_MP/LEIX しままままで、「DIMS_MP/LEIX しままままで、「DIMS_MP/LEIX しままままで、「DIMS_MP/LEIX しままままます。」 - 表数名が129文字以上ある。 | - 4 11 APL TER | 作業実行時にファイル埋込変数の置換が行われないため エラーとなります。 | - 接続上を整名の間の半角スペース。また「正神師文字(CPT)がリールに乗じていない場合 無可に使用のフライス 「中央 (CPT) |

| No. 項目 | | 該当モー Role | | ITA取り込み可能例 | ITA取り込み不可例 | ルールに準拠しな い場合の影響機能 | 影響現象 | エラー表示例 |
|--|---|--------------|---|--|--|--|--|--|
| Dール・シケージファイルに含むplaybookでファイル埋込変数を使用する場合、アップロードする前にファイル埋込変数を登録する。 | | 0 | | | ロールパッケージを登録する前にファイル埋込変数を登録しい ていない | | 事前アップロード時に警告を表示します。 | ロール(ッケーシファイル(紅体形式) アップロード状況: PlaySock(Cyfsample/tasks/mini.ymlの2行目のCopy モンコール場のAddisks (Cife. SAMのE) がファイル管 理に登録されていません。 |
| 11 Ansible-LagacyFoleコンソールでアップロードするロールバッケージファイルは 「roles」のある階層の ディレクトリを opiこで 任施したもの 占配配 動例参照 を用意する。 | × | 0 | × | ************************************ | *rolesディレクトリがない xxxxx/A/Tasks/main,yml xxxxx/A/defaults/main,yml | ロールバッケージ管理 | 事前アップロード時に警告を表示します。 | ロールパッケーシファイル(ZIP形成) F:RICF_AutoCapsule_disabledksample NN(|
| 各ロールのデフォルト変数定義ファイルで配列変数を定義する間の注意事項 ・単一ロールバッケージ ロールを誇って同じ変数をを使用しているが配列変数のメンバー変数の定権が違う器。 ロールを誇って同じ変数をを使用しているが配列変数のメンバー変数の定権が違う器。 コールを持つて同じ変数をを使用しているが配列変数と一般の変数が混在している際。 シラップロート時にエラーとよります。 2g ロールバッケージ コールバッケージを持って同一変数名を使用しているが配列変数のメンバー変数の定義が 造った。 ロールバッケージを持って同一変数名を使用しているが配列変数と一般の変数が混在して いた人態管理に変数名が表示されません。 | × | 0 | × | 別シート【配列変数を定義する際の注意事項】参照 | 別シート【配列変数を定義する際の注意事項】参照 | ・単一ロールバッケー ジ ロールバッケージ管理 ・全ロールバッケージ 代入庫管理 | 単一ロールパッケージ ロールパッケージを登録できません。 ・金ロールパッケージ 記別実数に感覚できません。 ロールパッケージに定義されている値で実行します。 | 単一ロールバッケージ ロールドックージファイル(ZDP等実) アップロード状態: ロールドック製造業者アイルに登録されている実際の定義 がその。 全型(VAX_SAMPLE)ロール名 POBLET TORN/A ・全ロールバッケージ 登録 AVIL―5-2-2* Movement* ALLEY (MOVEMENT) AL |
| 13 ・配列変数を使用する際は、defaultsディレクトリのmain.ymlに右記記載例を参考に記入する ※最低1行は定義必須 | × | 0 | × | [defaults/main.yml] VAR 01: - [VAR SAMPLE 01: "001", VAR SAMPLE 02: "002"] - [VAR SAMPLE 01: "101", VAR SAMPLE 02: "102"] | [defaults/main.yml] VAR_01: | 代入值管理 | 配列変数として認識されないので、メンバー変数に値を設 定することができません。 作業実行時にメンバー変数未定義のエラーとなります。 | □ 登録 ポイレーション* Novement ポスト* 気息を メンバーを取る 人力で表 (A. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. |
| 14 構築コードの基本書式におけるインデントは2倍数で調整する | 0 | 0 | 0 | - △name: サービススクリアト配置 △ △ template: △ △ △ △ Asre: " item.sre: " △ △ △ △ △ cost: " item.dest: " - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | ・インテンかな倍数になっていない - Aname サービススクリプト配置 | 作業実行 | 作果実行時に想定外エラーとなります。 | 進行状況(エラーログ) フィルタ: |

配列変数を定義する際の注意事項

| No. | ロールパッケージ | roles | defaults/main.yml | 動作 | 記載内容 |
|-----|----------------------|-------|---|----|---|
| 1 | サンプル01 | Α | VAR_SAMPLE: - { VAR_001: "aaaa" , VAR_002: "bbbb" } | 0 | ・変数名が同じ ・配列変数のメンバー変数の定義が同じ ・メンバー変数の記載順序が同じ |
| ' | | В | VAR_SAMPLE: - { | | |
| 2 | サンプル01 | Α | VAR_SAMPLE: - { | 0 | ・変数名が同じ ・配列変数のメンバー変数の定義が同じ ・メンバー変数の記載順序が異なる |
| 2 | | В | VAR_SAMPLE: - { | | |
| 3 | サンプル01 | Α | VAR_SAMPLE: - { VAR_001: "aaaa" , VAR_002: "bbbb" } | × | ・変数名が同じ ・配列変数のメンバー変数の定義が異なる |
| | | В | VAR_SAMPLE: - { | ^ | |
| 4 | サ ンプル01 - | Α | VAR_SAMPLE: - { | × | ・変数名が同じ |
| 7 | | В | VAR_SAMPLE: aaaa | | ・一般の変数と配列変数が混在している |
| 5 | サンプル01 | Α | VAR_SAMPLE: - { | 0 | ・変数名が同じ ・配列変数のメンバー変数の定義が同じ |
| | サンプル02 | Α | VAR_SAMPLE: - { VAR_001: "aaaa" , VAR_002: "bbbb" } | | ・メンバー変数の記載順序が同じ |
| 6 | サンプル01 | Α | VAR_SAMPLE: - { | 0 | ・変数名が同じ ・配列変数のメンバー変数の定義が同じ ・メンバー変数の記載順序が異なる |
| U | サンプル02 | Α | VAR_SAMPLE: - { | O | |
| 7 | サンプル01 | A | VAR_SAMPLE: - { | × | ・変数名が同じ |
| | サンプル02 | Α | VAR_SAMPLE: - { VAR_003: "aaaa" , VAR_004: "bbbb" } | | ・配列変数のメンバー変数の定義が異なる |
| 8 | サンプル01 サンプル02 | Α | VAR_SAMPLE: - { VAR_001: "aaaa" , VAR_002: "bbbb" } | × | ・変数名が同じ |
| U | | Α | VAR_SAMPLE: aaaa | ^ | ・一般の変数と配列変数が混在している |

ITAで取り込めるAnsibleのRole応用例

| No. | 変数 | モジュール/様文 | 動作内容 | ディレクトリノファイル | | | | | |
|-----|--------------|------------|-------------------------------------|---|---|---|--|--|--|
| NO. | 受散 モンユール/ 無人 | | 野作が番 | defaults/main.yml | tasks/main.yml | templates/※※※.txt | | | |
| 1 | 一般変数 | with_items | 一般変数を使用した with_itemsモジュール | VAR_test: SAMPLE | - name: ファイル内容確認 shell: cat /tmp/[[item]] with items: - "[[VAR_SAMPLE]]" | - | | | |
| 2 | 一般変数 | if | 一般変数を使用した if構文 | VAR_SAMPLE: True | - name: 配列変数を仕込んたアンノレートを配直 | (\$ if VAR,SAMPLE is defined and VAR,SAMPLE == True 場出力したい文字 (\$ endif 場) | | | |
| 3 | 配列変数 | with_items | 配列変数を使用した with_itemsモジュール | VAR.SAMPLE: - [VAR.001: "aasa", VAR.002: "bbbb"] - [VAR.001: "cccc", VAR.002: "dddd"] - [VAR.001: "eeee", VAR.002: "fffff"] | - name: ファイル内容確認 shell: cat /tmp/"[[item.VAR,001])" with :tems: - "[[VAR,SAMPLE]]" - name: ファイル内容確認 shell: cat /tmp/"[[item.VAR,002]]" with ;tems: - "[[VAR,SAMPLE]]" | - | | | |
| 4 | 配列変数 | for | 配列変数を使用した for構文 | VAR_SAMPLE: - { VAR_001: "aaaa" , VAR_002: "bbbb" } - { VAR_001: "cccc" , VAR_002: "dddd" } - { VAR_001: "eeee" , VAR_002: "ffff" } | - name: 配列変数を仕込んだテンプレートを配置 | (\$ for tmp SAMPLE in VAR SAMPLE \$) ((tmp SAMPLE VAR 001)) ((tmp SAMPLE VAR 002)) (\$ endfor \$) | | | |
| 5 | 配列変数 | for if | 配列変数を使用した for構文及び ir構文でのループ制御 | VAR.SAMPLE: - [VAR.01: 1, VAR.02: 001] - [VAR.01: 0, VAR.02: 002] - [VAR.01: 1, VAR.02: 003] | name: ループと条件分岐の応用例 shell: ループと条件分岐の応用例 % for tmp_SAMPLE in VAR_SAMPLE % % if tmp_SAMPLE.VAR_01 = 1 % echo % tmp_SAMPLE.VAR_02 % sles % true % endif % % endif % | - | | | |
| 6 | 配列変数 | for if | 配列変数を使用した for構文及び if構文でのルーブ制御 | VAR SAMPLE: - { VAR 01: 1 , VAR 02: 001 } - { VAR 01: 0 , VAR 02: 002 } - { VAR 01: 1 , VAR 02: 003 } | - name: 配列変数を仕込んだテンプレートを配置 template: src=var_array_sample.txt dest=/tmp/※※※.txt | [% for tmp, SAMPLE in VAR, SAMPLE %] (% if tmp, SAMPLE VAR 01 == 1 %) echo [{ tmp, SAMPLE VAR, 02 }] (% else %) true (% endif %) (% endfor %) | | | |